

## 令和3年度 第4回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和4年2月4日(金) 14:00~16:20	
場 所	WEB会議/議長 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室	
構 成 員	30名 (欠席者5)	
1号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2号委員	(県立中部病院長) (那覇市立病院長)	玉城 和光 外間 浩
3号委員	(県立宮古病院長) (県立八重山病院長) (北部地区医師会病院長)	本永 英治 篠崎 裕子 諸喜田 林
4号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好
5号委員	(沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子
6号委員	(沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子
7号委員	(沖縄県看護協会会長)	平良 孝美
8号委員	(沖縄県政策参与)	対象者なし(構成員外)
9号委員	(沖縄県保健医療部長)	大城 玲子(欠席)
10号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11号委員	(琉大がんセンター運営委員会委員長)	青木 陽一
12号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生(代理)
13号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳(代理)
14号委員	(琉大看護部長)	眞栄城 智子
15号委員	(琉大事務部長)	鬼村 博幸
16号委員	(県立中部病院副病院長) (県立中部病院血液腫瘍内科部長) (那覇市立病院外科統括科部長) (那覇市立病院外科部長)	前田 純子 朝倉 義崇(代理) 宮里 浩 友利 寛文
17号委員	(県立宮古病院外科部長) (県立宮古病院副院長) (県立八重山病院消化器内科部長) (県立八重山病院副院長) (北部地区医師会病院副院長) (北部地区医師会病院看護部長)	松村 敏信 見里 悟美 菊池 馨 平良 美江 柴山 順子 我如古 春美
18号委員	(沖縄県がん患者会連合会事務局長) (ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長) (サバイバーナースの会「ピアナース」代表) (パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	安里 香代子 眞栄里 隆代 上原 弘美 島袋 百代
19号委員	(国際医療福祉大学大学院教授) (一般社団法人グループ・ネクサス理事長) (琉球新報編集局次長・報道本部長)	埴岡 健一 天野 慎介 島 洋子
20号委員	(琉大病院小児科講師) (那覇市立病院放射線科部長)	百名 伸之(欠席) 足立 源樹
陪 席 者	沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班 沖縄県教育庁保健体育課長 県立中部病院放射線治療センター長	新垣 真太郎 城間 敏生 戸板 孝文
(以下、Zoom傍聴申込)		
ハートライフ病院、琉球新報社、沖縄タイムス社、ほか		

## **資料確認等**

1. 令和3年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(令和4年1月17日開催)
2. 令和3年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事要旨(11月19日開催)
3. 令和3年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月19日開催)
4. 協議会・幹事会委員一覧
5. 令和4年度の協議会・幹事会・部会の開催の日時について  
増田委員(10号委員)から資料について確認があった。

## **有識者報告事項**

### **1. 埴岡委員報告**

埴岡委員(19号委員)から資料6に基づき、沖縄県の健康寿命、死亡率、罹患率、がん早期発見率、化学療法実施量などを2010年時点と2019年又は2020年時点とを比較し、懸念すべき内容が報告された。また、今後の予測とそれに伴う準備及び予防について説明があった。

なお、今後の予測や動向をより正確に把握するためには、各種データを検証し、更新し続けるとともに、危機感を持って予防策を推進することが望まれるとの見解が示された。

(主な意見等)

Q.(島袋委員、上原委員(18号委員))どのように、がんの早期発見を増やすことができるか。

A.(大屋議長)早期診断や早期検査の率を上げるよう推進することが望まれる。

A.(安里委員(4号委員))記者会見等メディアを通じて、早期診断や早期検査の率を上げるよう広報していくことはどうか。

A.(増田委員)すい臓がんを例にすると、糖尿病の悪化要因の1つにすい臓がんの可能性を疑うなど、当該医師との共通認識の強化等も進める必要がある。

A.(本永委員(3号委員))宮古病院では、すい臓がんの早期発見を目的に、開業医を含めた研修会を実施した。

A.(青木委員(11号委員))子宮体がんが急増したこと、肥満や糖尿病との関係について改めて調査したい。

### **2. 天野委員報告**

天野委員(19号委員)から資料7に基づき、以下3件の報告があった。

また、大屋議長から②について祝辞があり、③について院内の状況確認を進めるとの回答があった。

①令和4年3月20日～21日にかけて、第4回AYAがんの医療と支援の在り方研究会学術集会を開催する。

②天野委員が、長年のがん患者支援活動や情報発信等の功労から2021年度の日本対がん協会朝日がん対象を受賞した。

③患者申出療養制度について、沖縄県内医療機関には未だ設置されていない状況が続いているとの指摘があった。

## **審議事項**

### **1. 当協議会専門部会の各WGに関する申合せについて**

増田委員から資料8に基づき、本協議会部会のいくつかの部会に既に設置しているワーキンググループについて、申合せ内に明記したいとの提案があり、原案のとおり承認された。

## 2. 北部、宮古及び八重山医療圏における各種がんに対する治療の現状のWeb上の公開について

増田委員から資料9-1～3に基づき、北部、宮古及び八重山医療圏における各種がんに対する治療の現状のWeb上に公開することで、多くの治療は当該医療圏で対応可能だと在住者へアナウンスしたいとの提案があり、審議の結果、一部修正のうえ本件を掲載することが承認された。また、今後内容や見せ方について、検討を続けることとなった。

(主な意見・要望等)

- ・当該地域に配属された医師の専門性で治療可否に影響があることから、WEB掲載内容についてある程度確認する頻度を保つことが必要になる。
- ・△(一応可能)がどの程度可能か、分かりづらい。
- ・がん種によって、沖縄本島内の一部の医療機関に集約して対応した方が望ましいものがある。今回の掲載内容で、離島である程度の治療に対応できることが、離島で本島と同様の治療が可能であると誤認識しないよう、注意いただきたい。

(その他)

Q. オンラインでのセカンドオピニオンについて県内で進展があるか。

A. 琉球大学病院でZOOMを用いた方法で準備中である。

## 3. 第3次沖縄県がん対策推進計画の評価のための医療者調査について

増田委員から資料10-1に基づき、10-2の資料が有用であったことから、沖縄県として同様の調査を実施していただけないか検討依頼があった。また県での対応が困難な場合は、本協議会で実施して良いかとの提案があった。沖縄県として本調査を実施する予定がないとの回答を得、審議の結果、本協議会として調査を進めることとなった。

## 報告事項

### 1. 今年度の本協議会の実績について

増田委員から資料11に基づき、今年度の本協議会の実績について報告があった。

### 2. 患者会からの要望書に関する対応について

増田委員から資料12に基づき、患者会3団体から本協議会への要望書について進捗報告があった。

(今回報告のあった項目)

- ・WEBを利用したセカンドオピニオンについて、琉球大学病院でZOOMを用いた方法を検討している。

### 2. 第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について

### 3. 沖縄県におけるがん対策費について(平成28年度～令和3年度の予算及び決算の推移)

### 4. 患者会よりの報告

(報告なし)

### 5. がん教育について

沖縄県教育庁保健体育課長の城間氏から、資料13に基づき、がん教育の進捗状況について報告があった。また、今年度で文部科学省からの委託事業は終了となるが、引き続き、がん教育の普及啓発していく旨の発言があった。

### 6. がんゲノム医療について

増田委員から、資料14に基づき、がんゲノム医療外来について進捗報告及び紹介依頼があった。

## 7. がんゲノム医療について

増田委員から、資料14に基づき、北部地区医師会と琉球大学、県立中部病院と八重山病院及び宮古病院の定期的なカンファレンスについて報告があった。

(以下については、紙面報告となった)

## 8. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

## 9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

## 10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

### 11. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

(1) 第77回がん対策推進協議会

(2) 第28回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会

(3) 第18回厚生科学審議会がん登録部会

(4) 第5回がんと共生のあり方に関する検討会

(5) 第3回がんの緩和ケアに係る部会

(6) 第4回がんの緩和ケアに係る部会

(7) 第7回がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

(8) 第3回 がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

(9) 第1回 小児がん拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

増田委員から資料18—(1)～(9)に基づき、厚労省におけるがん関連審議会及び各種会議についての報告があった。

### 12. その他

増田委員から、本会及び本会幹事会での協議事項又は報告事項があれば、本協議会担当まで連絡するよう案内があった。

## 部会報告事項

### 1. 緩和ケア・在宅医療部会

増田委員から資料12に基づき、大腸がん死激減プロジェクト連絡会議から、医師向けの大腸がん相談室を開設したとの報告があった。

(以下については、紙面報告となった)

### 2. 小児・AYA部会

### 3. 離島・へき地部会

以上